



スノースコート

なまゑ

2/9~15

2/9(月) アロンの杖

民数記 17:1~8  
 モーセのお兄さんのアロンは 神さまから 祭司に任命された人でした。ですが、イスラエルの民はそのことに 文句を言ったのです。

1.5.7 節 → 不平や文句が口から出るとき、どんなじになるだろう？

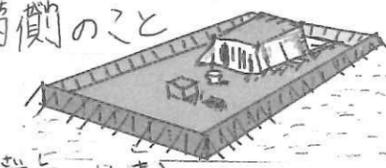
イスラエルの民が 不平を言うとき、みんなの心は神さまから離れてしまい、滅びの道へと向かっていたのです。そこで神さまは、アロンを選んだことがまちがいなく神さまから出たことだと示しました。

おいのり  
 不平や不満を感じるときも、神さまの愛から心がほろゆかないように 直してください

2/10(火) それぞれに役割がある！

1.5.7 節 → 民数記 18章 1~7 節  
 神様はアロンに言われた。どんなことを言われたのか？

1.5.7 節 → アロンとアロンの子たちには、祭壇に關するすべてのこと、垂れ幕の飾りについて、奉仕をするように！！ (祭司の仕事)



2.3.4.6 節 → アロンの同族のレビ人にも、祭司の仕事をするアロンとその子たちの補助と 祭壇全体の任務をするように！！

私たち一人一人には、神様が与えてくださった、それぞれの役割がある！自分の役割は何かな？ 与えられた役割を 樂楽に行っている！ 喜んだことを、お祈りしよ！

2/12(木) 「きよめられるために」

おいのりして 聖書を開こう！ 民数記 19:1-12

旧約の時代は罪の結果である死に触れることは「汚れる」とされ、その汚れをきよめるために傷のない赤い雌牛をささげるように神様に言われました。赤い雌牛は宿営の外でほふられ、焼き尽くされ、その灰を集め水に混ぜて汚れを除く水を作りました。その水をふりかけることによって汚れが取り除かれきよめられるとされました。

今はイエス様の十字架の血が私たちの罪と死の結果から完全にきよめてくれています。

お祈り  
 イエス様にきよめられた者として、罪、悪い行ないをするのではなくてきよい、愛のある行ないができますように。アーメン



2/13 神さまのあわれみと聖さ

おいのり → 民数記 20:2, 7-12

民は、水がないことで「あわれみを死なせようとするのか」とモーセとアロンに逆らい、不満を言った。神さまは、不満ばかり言う民に怒り、あわれみを示して、水を出すと、岩に命じられたよ。おいのり → 民数記 20:2, 7-12

でも、モーセとアロンは民に怒って杖で岩を二度打ったよ。神さまの言われた方法で、神さまのあわれみと聖さをあらわすことをしなかったんだね。

おいのり → 神さまのあわれみと聖さをあらわすことができるように。

2/14(土) 見上げると生きる

おいのり → 民数記 21:5-8

神さまに逆らったイスラエルの民は、神さまが送られた燃える蛇で多くの民が死んだよ。でも神さまが与えて下さった青銅の蛇を見上げた民は死ななかつたよ。

この蛇はイエス様の十字架を表しているよ。十字架を信じて、救われるんだ！ イエス様の十字架をありがとう



2月15日 恐れはならない

おいのり 民数記 21:34



主はモーセに言われた 彼を恐れはならない 何がする時に、神様にはげまされた事あるかな？ 神様は、いつもあなたをはげましていますよ！